

今月号の表紙は芝桜です。香川にはお花の見所がたくさんあります。この便りが届くころは菖蒲や県花・県木のオリーブの季節でしょう。

ごけい たより  
**互惠便り** 第39号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…  
**NS 中谷石材株式会社**  
〒761-0121  
高松市牟礼町牟礼3766-1  
電話 087-845-5006



25万株を超えるシバザクラが見事な、高松市西植田町の『カフェ ジャルダン』の庭園です。オーナーご夫婦が毎年植え替えをしながら20年以上手入れをしている庭園で、中でも毎年デザインを変える「芝桜アート」が、訪れる人を楽しませてくれる場所です。

こちら『芝桜富士』も、芝桜と山小家の私設公園です。

写真 中谷石材(株)大川工場 奥野武



## 第52回あじストーンフェア2024

会期：6月8日(土)・9日(日)  
庵治産地が一番輝く日  
会場：サンメッセ香川  
(香川インテリジェントパーク内)

讃岐石材加工協同組合の主催により、日本を代表する高級墓石材「庵治石」の産地で開催される一大イベント(入場無料)です。

今回は～『Next Aji』庵治産地が一番輝く日～をテーマに、庵治産地石製品の展示販売と産地情報の発信とともに、石材関連商品の展示販売があります。庵治産地で培われた技術や新しいアイデアを体感し、庵治石の魅力に触れるチャンスストーンフェアにお出かけください。



石のワークショップ  
楽しい催しのほかに、  
美味しい各種料理の  
キッチンカーも！

1、ストーンフェアで毎年好評の「庵治大丁場採石場研修」は初日8日(土)の10時と14時30分の2回。事前予約なし、参加費500円です。



見えなくても旅の感動を一緒に

# 「さわる模型」のお披露目式

4月22日（月）鎌倉五山第一位 大本山建長寺

鎌倉五山第1位大本山建長寺に於いて、【さわる模型】のお披露目式に当社中谷が出席してきました。この模型は、見えなくても旅の感動を共有できるようにと、盲目の娘さんを持つ一人の母の夢に500名の市民が共鳴して作られたものです。

当社は下の台座を庵治石を用いて製作させて頂きました。式後、たくさんの視覚障害者の方々が模型を触っていた時の笑顔が忘れられません。鎌倉に行かれる機会があれば、是非とも立ち寄り見学されてください。

お蔭さまで。

このたび、鎌倉建長寺様仏殿のブロンズ模型が完成し、その模型の台座を、私もが庵治石で製作しました。誰もが触って楽しめる「さわる」模型（ユニバーサル模型）で、歴史的建造物にふれてもらうという取り組みです。

目の見えない方にとって、手で触って得る情報はたいへん重要です。この模型によって建物の形が触って分かるようになります。また、建物全体を俯瞰できるので、目の見える方も新たな楽しみを得ることが出来ます。

エピソードを一つご紹介します。京都の三十三間堂には、さわってOKの模型があります。それをさわっていた視力障害の方が「35あるけれど」と言われました。僧侶さんに聞くと「両端に廊下があるので、そのぶんだけ余計にあります。35が正しいです。」とおっしゃって、「目の見える方より理解が深いですわ」と感心されたとのことでした。

このように、さわる模型は学びの可能性を大きく広げてくれます。制作資金はクラウドファンディングで寄付を募りました。最初の目標の五百万円にたいして、六百五十万円の寄付が集まったそうです。素晴らしいことです。

お披露目の式典には、私も出席させて頂きました。このプロジェクトの大利栄子代表の流された涙と、目の不自由な娘さん（歩さん）の姿が忘れられません。中谷で働く仲間の技術と誠意がお役に立って、うれしい限りです。



中谷石材株式会社  
代表取締役 中谷明生



## ラク家事隊

事業変革に伴う新事業として、女性スタッフによる「屋内清掃」をスタートしました。

みんなで考えたチーム名は「ラク家事隊」です！

### お家の屋内清掃 最初のお客様は：

当社・草むしり事業部の社員、河野さんのお宅でした。単身でお住いの一軒家です。作業は主に台所掃除を中心に、豊永、森、鈴木、伏見の4名で2時間で行ないました。

手分けして、電子レンジの内部やガスコンロ、シンク内部や水道の周り、そして誰もが厄介に感じる換気扇の汚れをお掃除させて頂きました。男性の河野さんは気になっていなかったという汚れも、女性には気になります。もう少し時間をかけたい所もありましたが、決められた時間内では、少々妥協しなくてはいけない部分もありました。

作業終了後のミーティングでは、掃除道具を充実させる、仕上がり共有して役割分担と時間配分を考えて時間内で色々な作業が出来るように工夫していく、みんなが効率良く作業するには？と次々とアイデアが出てきて、長時間の話し合いになりました。笑

実は、私達のチームこそが中谷石材にとって本当に新事業です。一から皆で決めていこう！お役に立てるチームになろう！と一致団結しています。これからも皆で楽しく仕事ができて、お客様に頼りにされるチームに成長していきたいと思えます。



## グリーンメモリー事業部・リーダー 豊永摩利子

みなさま、初めまして。

中谷石材グリーンメモリー事業部リーダーの豊永摩利子です。石材部門の字彫課を担当していましたが、新しくスタートした屋内清掃部門も受け持つことになりました。多忙な毎日ではありますが、充実しています。

私は岡山県玉野市の出身です。小学校の頃はとていまして、そうですね、ほぼ男の子でしたね(笑)。山や田んぼに囲まれてたくましく育ちました。男の子にも負けず、友達を守るときにはなんなら、手も出てましたね。(これは書かないでください)。しかし母に言わせると、幼少期は粘土遊びや絵を描いて1人で遊ぶ、おとなしいタイプだったそうです。本当です。

そして中学からはバレーボールに打ち込みました。小さな学校ですからチームメンバーもギリギリだったのですが、県内では強かったです。高校もバレーボール一筋。今も続けています。

### 最初の仕事は、文字登録

進学して香川に来たのですが、中谷石材で内定をいただいていたから卒業するまではアルバイトとして働き、そして、そのまま入社しました。ちょうどパソコンを導入したばかりで、それに文字登録するのが私の最初の仕事でした。中谷独自の書体を登録するのですが、1万文字くらいはあったのではないのでしょうか。よく使う文字の登録だけで、1年くらいかかりました。

お墓に使う文字の書体は、その石材会社によって違います。昔は手書きの文字のお墓が多かったので、中谷のお墓は文字を見たら、どの先生が書いたものか分かりました。文字に漬かって働く毎日でした。

### 入社の頃は上司と先輩に鍛えられました

当時は残業が当たり前で、遅くまで女性も同じように働いていましたね。夜8時ごろになると差し入れが届いたりするのですが、そうすると益々帰れなくなりました(笑)。遅くまで働いて、それでいてみんな朝6時頃には会社に来ていました。すでに平成でしたけど、世の中の働き方は、まだザ・昭和という時代でした。私も、とにかく与えられた仕事はやりきる！という感じでした。

当時の上司だった目川さんには随分と鍛えられました。話をすぐに飲み込まないと、目川さんのペースにはついていきませんでした。自らも常に動いている方でした。仕事中はヒリヒリしていました。相談にのってくれたり、晩ごはんに連れて行ってくれたりと、しっかりと育てていただいたと思っています。今ではすっかり好々爺ですね。

### リーダーとして公平であることを大切に

30代の頃、字彫課のリーダーになり、昨年は石材事業部のリーダーとして多く

を学びました。リーダーになりますと、やはりそれ以前とは責任が違います。以前より人をより見るようになりましたし、全体のことを考えるようになったと思います。

私の役割で大事なことの一つは、会社で決定した方針と具体的な方策をメンバーにきちんと伝えることです。その時に、人によって違うことを伝えないことと、不公平な振る舞いをしないことを肝に銘じています。誰かに偏(かたよりのある)見方をしない、メンバーが理不尽に感じるようなことはしないし、言わないことを心がけています。マイナス評価を付けるリーダーでもありたくありません。

### 今回の大変革計画もみんなで成し遂げます！

悩みもありますが、リーダーの仕事はやり甲斐があります。みんなで前に進むのは面白いのです。かつて会社で環境整備にとり組み始めたときのことを思い出します。反発は本心に大きかったです。でも今ではすっかり会社に着着して、作業環境が良くなりました。あの時も、みんなで会社の変革を成し遂げました。

本日は、メンバーに選んでもらったリーダーならいいなと思っていますが、選ばれた以上は全力でとり組めます。私というリーダーにメンバーは納得しているだろうか、いつも自問自答しながら仕事をしています。誠心誠意を持って事に当たればその結果が出ると信じて、今日も全力でリーダーの仕事にチャレンジしています。



## “草むしり”は、お客様から喜ばれて、感謝される事業です。 私たちは、この未来事業に取り組んでいます！

**お客様に感謝される  
「草むしり事業」は、  
終身就業も可能な  
未来事業です。**

戦後の人口増と経済成長に伴って右肩上がりの成長を続けてきた石材事業でしたが、残念ながらずいぶん以前から斜陽の時を迎えています。その衰退を予想して、ご家庭のお庭の草むしり事業に、14年前からひたむきに取り組んできました。

今、私たちは改めて、お客様から喜んで頂けて、社会にも役に立ち感謝されるこの事業に真摯に取り組んでいます。

4月の新年度から、石材事業メンバーからも草むしり事業のチームリーダーを選出しました。5月からは、それぞれの社員が積極的に草むしりの現場に向かい、実働経験を積んでいる日々です。

新聞折込みのチラシを見て、「墓石でお世話になった中谷石材さんがされている事業だと知り、中谷さんになら困っていた草むしりをお願いしたいと思いました。」と、お問い合わせをして下さったお客様がいます。ありがたいご縁に改めて感謝して、一生懸命に取り組んで参ります。



中谷浩一朗

草むしりの仕事では、みんなで作業を安全に効率よく進めるように協力しています。作業前と作業後、目に見えて綺麗になりますので達成感もあります。一人でも多くのお客様に、喜んでいただけたらと思います。



平木伸昌

今季から草むしりリーダー研修をしている平木伸昌です。毎回、木の名前、剪定の仕方を牟礼さんに教えてもらっています。今まで木の名前などあまり気にしていなかった、ほぼほぼ分かりませんでした。今は頑張る勉強中です。剪定もしたことが無く、どうしたら良いか分からず、皆さんの作業を見たり聞いたりして少しずつ覚えていきます。お客様と直接お話が出来るので、喜んで頂いた時は、やった甲斐があったなといつも嬉しくなります。



## “屋根・瓦修理”のご相談も増えています

屋根瓦の間に育っていた雑草を取り除きました。これでスッキリしましたね。瓦に関するお悩みは、破損修理に関わらず、気がついていてもご自身ではどうにもできないことが多いようです。どうぞ、お気軽にご相談ください。



ここに草が！



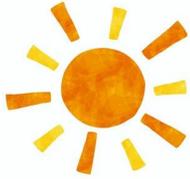
スッキリ！

ご家族で解決するには難しい高所での作業も、安心してお任せください。



# 「草むしり日記」 No.62

14年前「草むしり事業部」がスタートした時は、遠山文士さんたった一人でした。その後、牟礼英則さんも専属で加わってから、一人またひとりと仲間が増えていき、今では70人余りの大人数でこの仕事に取り組んでいます！



たくさんのご利用ありがとうございます。

当社の施工実績は、年間2,100件を超えました！



5月だというのに夏日の日もあり、どうやら今年も猛暑の日々が続きそうな気配がする、初夏の幕開けです。

そんな中、おかげ様で草むしり事業部には、リピーターのお客様をはじめ、新たなお客様からも多数のご予約やお問い合わせをいただいています。ありがとうございます。

私たちは、無理な売り込みは一切いたしません。また、「草むしり」だけでなく、庭木の剪定・防虫剤の散布・蜂の巣の駆除などでもお役に立てます。

お庭やお墓の事でお困りの方は、お気軽に私たちにお電話ください。

私たちの仲間に加わって、私たちと一緒に働いてみませんか？



草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144



草むしり事業部 出動！

ビフォーアフターで、

お庭がこんなに違います！

今回紹介させていただく施工例は、高松市内で施主様宅と隣接するお母様宅を毎回同時にご依頼下さるお客様のお庭です。

林班にとっては2年前、班の発足後間もない頃に今田班より引き継ぎ、担当させて頂いているお客様です。

私共でお手伝いさせて頂いているお庭の草むしりや植木の剪定は、元々は施主様とご家族で取り組んでおられたのですが、年々ご負担に感じていたところに、折り返みで『草むしり』を知り、お声がけ下さったのがきっかけだったとの事です。

「ご利用下さったご感想を尋ねると「きちんとやってくれる」と、大変有り難い評価を下さりました。決して無理強いはしておりませんので悪しからず。

お仕事では、芝に点在する草や準高木が面する路上の交通量も決して少なくはなく、注意を払うべき点多々在りますが、その仕上がりは勿論のこと、施主様と施主様の推定では、俗に言うアラハンのワンちゃんとお逢いできるのも私たちにとっては毎回の楽しみです。

今後とも長くご愛顧下さるよう林班一同は勇猛精進し続けて参ります。

林班リーダー 林義博



ビフォーアフター



ビフォーアフター

## 今月の社長のコラム

### 案山子(かかし)

お陰様です。

先日、互恵だよりの制作を手伝っていただいてる会社の社長さんと、話をする機会がありました。そこでこんな言葉を伺いました。

「会社のニューズレターは何のために出すのだろう、ということを考えてきて、一つ分かったことがあります。ニューズレターは、お客様に何かを売り込むために送るのではないんですね。もちろんニューズレターがきっかけで新たに何かを買っていただけたり、取引が始めれば、それはうれしいです。感謝です。でもそれは、結果としてそうなったということ、ニューズレター目的ではありません。

経営者というのはやはり、自分のお客様のことが、「気にかかる」ものです。

あの人はどうしているかな？とか、お元気で変わらないうか？というふうなんです。こんな風に「気にかかる」という気持ち、ニューズレターをお届けする原点なのだ、最近気づきました。」



これを聞いたときすぐにあの歌を思い出しました。「やだまきしさんの案山子(かかし)ですね！」「そう、あの歌なんですよ。」と、その社長さんも、椅子から

身を乗り出しました。

『案山子』という歌では、進学して東京に旅立った息子に父(＊兄が弟に書いたという説もあります)が手紙を書きます。

元気でいるか

街には慣れたか 友達出来たか

寂しいか

お金はあるか 今度いつ帰る

この歌はスマホやSNSなどがまったくない時代の、昭和52年(1977)に歌われた歌です。しばらく顔を覚えていない、声を聞いていない子ども(あるいは兄弟)のことが気がかりだから、家族が手紙を書いている。そういう歌です。お客様にお届けするニューズレターの精神はこの歌の思いと同じだと、この社長さんと意見が一致しました。

中谷石材は、会社とご縁があった皆さまのことが「気にかかり」ます。お元気でいらつしやるだろうか、お困りのことは無いだらうかと。互恵だよりの表紙が商品ではなくて季節の風物詩の写真なのも、毎月奮闘している私たちの姿をご紹介させていたたくのも、このニューズレターがみなさんへのお便りだからです。

今風の表現ですと、そんなコスパもタイプも無視した企業のニューズレターにどんな価値があるのか、中にはそう考える方もいらつしやるでしょう。最もだと思えます。でも、長い目で見るとお客様と会社の信頼関係が生まれ育まれていくものと思っています。そう信じて今月号もお届けさせていただきます。

社長 中谷明生

## 社内報 情報管理室(in本社) 「ニューズレター」 41号より



### 「破壊王」からの脱皮？

いよいよ大改革の期がスタートしました。

そんな中、新しく始まりました屋内作業のご注文を頂いたと連絡があり、早速体験させて頂くことになりました。

事前に家具が通るかどうかが微妙な階段を通じて運び出すというお話を聞いていたので正直不安ではありましたが、というのも、私が最初に就職した職場が掃除会社で、その荷物を運ぶ時に大失敗をしてお客様の壁に穴をあけてしまったことがあり、その時から、仲間から「破壊王」という嬉しくないレッテルを貼られたことがあり、そのことを思い出していました。

いざ、作業に入ると牟礼さんが段取りよく指示をしてくださり階段では重量のかかる下側は牟礼さんが担当してくれました。私は傷をつけないように、壁際を家具が通る際には手を入れて角が壁に当たらないようにしていきましました。

その場にいた牟礼さん、豊永さんのテキパキとした行動により無事作業も終了し、お客様からは「本当に有難うございました。」と有難いお言葉を頂き、気持ち良い初仕事をさせて頂きました。

今後の作業の時も、初心を忘れず丁寧なお仕事をしていきたいと思えます。



何度も繰り返し、「ぎっくり腰」に悩まされている渡邊さん。積極的に作業に加わっていましたが、つい最近も悪化して辛そうでした。お大事に～。

渡邊隆志



樹木葬



高松久米山 やすらぎの社

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...  
**NS 中谷石材株式会社**

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1  
 電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



**草むしり.com 高松**

フリーダイヤル 0120-148-144